

船舶事故調査報告書

平成22年8月26日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年11月25日01時08分ごろ～05時00分ごろの間）
発生場所	不明（沖縄県八重瀬町港川漁港付近～糸満市喜屋武埼南東方沖の間）
事故調査の経過	平成21年11月30日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 みえこ丸、4.21トン ON3-130011（漁船登録番号）、個人所有 9.30m（Lr）×2.30m×0.90m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数70、昭和53年4月5日
乗組員等に関する情報	船長 男性 40歳 一級小型船舶操縦士 免許登録日 平成19年3月12日 免許証交付日 平成19年3月13日 （平成24年3月12日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、そでいか漁の目的で、平成21年11月25日01時ごろ、港川漁港を出航した。本船より少し遅れて出航した僚船は、数分ほど本船の後方を航行したが、本船とは漁場が異なるため別れた。01時08分ごろ、船長の家族は、船長から携帯電話で出航した旨の連絡を受けた。 本船は、予定していた27日朝に帰港しなかったため、漁業協同組合が無線で連絡を試みたが応答はなく、また、家族にも連絡がなかったため、同組合が13時07分ごろ海上保安庁に通報し、本船の捜索が開始された。 海上保安庁のヘリコプターが捜索した結果、13時58分ごろ喜屋武埼灯台から真方位125°27.2海里（M）付近において、無人で旋回中の本船が発見され、捜索に参加した僚船から海上保安官が本船に乗り込んで停止し、本船は、他の僚船にえい航されて帰港した。 船長は、行方不明となったが、後日、死亡認定により除籍された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 4

	海象：うねり 約2m、水温 約25℃	
その他の事項	<p>船長は、平成19年10月ごろ漁師になり、平成21年3月ごろ本船を購入し、1人で出漁するようになった。</p> <p>発見された本船は、GPSプロッターにより、目的地への自動航行が設定されており、6～7ノット(kn)の速力で、設定された目的地付近を巡回していた。</p> <p>発見された本船には、操業の準備がされない状態で漁具が収納されており、漁獲物はなく、船長が持参したおにぎり2個のうち1個が残され、クーラーボックスに入れられた飲料には手がつけられていなかった。また、本船に備えられていた新しい救命胴衣は、船上にはなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 なし 不明</p> <p>本船は、港川漁港を出航後、目的地として設定された喜屋武埼南東方沖において無人で巡回しているところを発見され、操業の準備がされない状態で漁具が収納されていたことから、本船発見場所に到達して操業を開始する前に船長が落水した可能性があると考えられる。</p> <p>本船は、発見された当時、6～7knの速力で巡回していたこと、及び港川漁港と本船発見場所の喜屋武埼南東方沖との距離が約25Mであることから、本船は、01時00分ごろ出航したのち、05時ごろ本船発見場所付近に到達したものと推算され、船長は、家族に連絡した01時08分ごろ港川漁港付近を航行し、05時00分ごろ喜屋武埼南東方沖に到達するまでの間に落水した可能性があると考えられるが、救命胴衣の着用の有無及び落水の状況は明らかにすることができなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が港川漁港を出航後、船長が落水したことにより発生した可能性があると考えられるが、落水した原因を明らかにすることはできなかった。</p>	